

## 第3回 運用・監視委員会 議事要旨

### 1. 開催日時等

日時 令和4年3月2日(水) 9時~11時

場所 JST 東京本部 B1階大会議室 オンライン会議

### 2. 出席委員

・中曽委員長

・臼杵委員、佐藤委員、Zimmerman 委員、丸山委員(五十音順)

(全員、オンライン会議システムを利用し出席)

### 3. 議事

(1)【審議】令和3年度年度計画変更(案)、令和4年度年度計画(案)

(2)【審議】基本ポートフォリオと移行計画(案)

(3)【報告】資産配分方針(案)

(4)【審議】市場急変時の対応に係る行動規範(クライシスプレイブック)(案)

(5)【審議】自家運用ガイドライン(案)

(6)【審議】選定基準(案)

・オルタナティブ資産の運用受託機関(ゲートキーパー/ファンド・オブ・ファンズ)

・オルタナティブ資産の資産管理機関

・伝統資産の運用受託機関・資産管理機関の追加事項

(7)【報告】運用リスク管理方法

(8)【報告】スチュワードシップ責任を果たすための方針等の公表

### 4. 議事概要

(1)【審議】令和3年度年度計画変更(案)、令和4年度年度計画(案)

○令和3年度年度計画変更(案)、令和4年度年度計画(案)について説明が行われた。本議案は、異議なく、原案とおりに議決された。

(2)【審議】基本ポートフォリオと移行計画(案)

○基本ポートフォリオについて前回からの変更点等の説明が行われ、オルタナティブ資産の期待リターンに関する想定の妥当性、乖離許容幅の考え方、リバランスのタイミング等について議論、意見交換が行われた。本議案は、原案とおりに議決された。

(3)【報告】資産配分方針(案)

○資産配分方針について報告がなされ、為替のヘッジ手段やヘッジ比率等について議論、意見交換が行われた。

**(4)【審議】市場急変時の対応に係る行動規範(クライシスプレイブック)(案)**

市場急変時(危機発生時)に取り得る選択肢やその影響等について説明が行われた。危機発生時に実際にクライシスプレイブックに沿って対応することの重要性、危機の認識時点や危機の予兆のモニタリング等について議論、意見交換が行われた。本議案は、原案とおりに議決された。

**(5)【審議】自家運用ガイドライン(案)**

○自家運用ガイドラインについて説明が行われ、本議案は、原案とおりに議決された。なお、ガイドラインに制約を追加することが提案され、検討の上、次回の運用・監視委員会で審議することとされた。

**(6)【審議】選定基準(案)**

○オルタナティブ資産の運用受託機関等の選定基準について説明が行われ、ゲートキーパーの選定条件、配点の詳細さの程度等について議論、意見交換が行われた。本議案は、原案通りに議決された。

**(7)【報告】運用リスク管理方法**

○運用リスク管理方法について報告が行われた。モニタリング指標に抵触した場合の対応について質疑応答が行われた。

**(8)【報告】スチュワードシップ責任を果たすための方針等の公表**

○スチュワードシップ責任を果たすための方針等の公表について報告が行われた。

以上